

新市長に期待すること①

## 「子育てするなら西宮」を実現するために

### 就学前の児童を持つ世帯への支援強化が必要です！

#### ■市長マニフェストから

今村新市長は公約集において

- 認可外保育施設に対する補助の実施
- 保育所保育料の値下げ
- 幼稚園保護者負担の公私間格差解消

等の施策に取り組むことを約束しています。

私は、これらの施策は「子育てするなら西宮」の名に相応しいまちづくりを進めるために必要不可欠であると考えています。

#### ■全力で取り組んでまいります！

働き方が多様化する中、保護者の週5日・平日昼間勤務を前提とする認可保育所のみで、安心して働きながら子どもを育てることができる環境を整えることは困難です。**待機児童の解消**

はもちろん、多様化する働き方に対応するためにも認可外保育施設に対する補助の実施は、きわめて重要です。また西宮市の保育所保育料は全国的に見ても著しく高い水準にあり、早急に見直すべきです。幼稚園の保護者負担の公私間格差解消も欠かせません。西宮市の幼稚園に通う児童の約80%は私立幼稚園に通っています。ところが市の私立幼稚園に対する補助が公立幼稚園に対する補助に比べて著しく少ないため、**私立幼稚園の保護者負担額の平均は、公立幼稚園の保護者負担額の概ね2倍となっています。このような格差は早急に是正するべきです。**

「子育てするなら西宮」の名に相応しいまちを実現するため、山積する課題に全力で取り組んでまいります。

新市長に期待すること②

## 安心して暮らせる「住宅都市」を実現するために

### 福祉・介護施策の充実に積極的に取り組みます！

#### ■急速な高齢化に備えた体制を！

「西宮市高齢者福祉計画・介護保険事業改定に関する調査」によると、**将来希望する介護・生活の場は「現在の居宅」が54.3%で1位**となっています。これを受けて、新市長は公約集において高齢者の在宅療養を可能にする環境づくりの重要性を訴え

- 介護従事者の待遇改善による人材確保
- 地域ごとに構築された病院・開業医・看護師・理学療法士・介護福祉士のネットワークが高齢者・患者の情報を共有できるシステム作り
- 地域のボランティア・宅配事業者・地域包括支援センターとの連携による、高齢者の地域での暮らしを見守る体制づくり
- 複雑な福祉制度や施設での高齢者虐待などについて気軽に相談できる窓口の周知

等の施策に取り組むことを約束しています。私は、これらの施策は高齢者が安心して暮らせる「住宅都市・西宮」の名に相応しいまちづくりのために必要不可欠だと考えています。

本市においても今後、急速な高齢化の進行が予想されています(表①参照)。**在宅療養可能な環境の整備・施設整備の推進等、福祉・介護施策の充実に積極的に取り組んでまいります。**

表①:西宮市の人口構成の推移予測

	2010年	2025年	増減数	増減率
総人口	48.3万人	49.0万人	+0.8万人	+1.7%
0～14歳	7.2万人	6.1万人	△1.1万人	△15.3%
15～64歳	31.7万人	30.6万人	△1.1万人	△3.5%
65歳以上	9.4万人	12.4万人	+3.0万人	+31.9%
75歳以上	4.3万人	7.4万人	+3.1万人	+72.1%

※出典:国立社会保障・人口問題研究所(2013.3)

※数値は千の位以下を四捨五入して算出

新市長に期待すること③

## 効率的で公正な市役所運営を実現するために

### 人事・給与制度の抜本的改革を進め、山積する課題に対峙するための財源を確保すべきです！

#### ■市長マニフェストから

新市長は本市の人事・給与制度について、

- 西宮市における清掃職員・給食調理員・学校用務員・公用車運転手・電話交換手等、技能労務職の給与は、民間同職種の倍近く、国と比較しても1.38倍と全国屈指の高水準(表②参照)
- 人事評価に実績・勤務態度が考慮されず、賞与も一律
- 昇進しなくても基本給が上がり続けるため、優秀な若い管理職より、役職についていない年長職員の給与の方が高い状況が頻繁に発生

等の問題点を公約集で指摘し、現状の改善に取り組むことを約束しています。

表②:西宮市技能労務職員の平均給与月額

廃棄物処理業従業員	483,781円	平均年齢 44.3歳	西宮市
	290,600円	44.6歳	民間
調理師	411,784円	45.1歳	西宮市
	259,200円	41.4歳	民間
用務員	469,959円	49.1歳	西宮市
	209,700円	53.8歳	民間
自動車運転手	560,854円	50.3歳	西宮市
	294,000円	57.1歳	民間

※市職員は平成24年度「給与実態調査データ」民間は厚労省「賃金構造基本統計調査」平成20～22年度平均

#### ■他にも様々な課題があります

公務員の給与制度改革は、私が議員就任以来、一貫して取り組んできた課題です。本市の給与制度には、公約集で指摘された内容以外にも

- 基本給との二重支給が疑われる特殊勤務手当が複数存在する
- 他市には見られない優遇されたルールに則って、扶養手当が支給されている
- 役職手当の決定方法が適切さを欠くため、役職と給与の逆転現象が多数発生している

等、様々な課題があります。新市長は、これらの

課題の是正にも積極的に取り組むべきです。

#### ■抜本的行政改革の推進を！

本市財政は

- 「毎年必ず出て行く支出」が「毎年入ってくる自由に使える財源」に占める割合(＝経常収支比率)が阪神淡路大震災後、一度も95%を下回ったことがない
- これは家計に例えると「給料の95%以上が食費、ローン返済、教育費、電気・ガス・通信費等の固定的な支出で消えてしまい、自由に使えるのは残り5%未満」という状況にあたる
- 経常収支比率の標準値は80%程度とされており、本市財政の硬直性・逼迫度は明らか

という厳しい状況にあります。こうした現状を打開し、**市政が抱える様々な課題に対峙するためには人事・給与制度の抜本的改革が欠かせません。**

本市の職員給与費は332.8億円。これは毎年、一定額が入ってくる自由に使える財源(＝経常的収入)の30.3%にあたります。一方で人口・規模等が共通する類似都市において職員給与費が経常的収入に占める割合は平均25.2%。**経常的収入に占める職員給与費の割合を他都市並みに改めることで経常収支比率の5%改善、毎年・約50億円の財源捻出が可能になるのです。**

- 「子育てするなら西宮」の名に相応しいまちづくりの推進
- 高齢者が安心して暮らせる「住宅都市」の実現
- 高齢化の進行に伴う福祉支出増大への対応
- 耐用年限が迫る公共施設の修繕・改修費用の増大への対応

等、本市が抱える課題は多岐にわたり、対応には莫大な資金が必要です。**効率的で公正な市役所運営の実現はもちろん、必要な財源を確保するためにも人事・給与制度改革をはじめとする抜本的行政改革に取り組むべきです。**